

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	9		シート作成者		-		-			
事務事業名	住環境整備事業の調査・研究			事務区分	自治事務			部課かい名	都市部 都市政策課	
事業の目的	市街地の再開発、住宅地区の環境整備、密集市街地の整備、マンション建て替えの円滑化等に関する総合的な調査研究及び事業の推進を図ることにより良好な住環境を整備する。			事業の目標	茅ヶ崎市住まいづくりアクションプランの推進					
事業の概要	<div>・本市の住宅に係る支援制度等を整理し、活用できるよう誘導する。 ・多様化する居住ニーズを世代毎に捉え、既存ストックの住宅活用ができるような制度導入のための方向性を明確にし、また実現に向けた整理を行う。</div>									
対象	市民及び住宅需要者			事業の性質区分	政策		業務計画	■		
指標	住宅政策の方向性の明確化(第2次実施計画) 住宅政策の推進(第3次実施計画)									
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)				
目標値		実績値		目標値		実績値		目標値		
調査・研究		調査・研究(相談窓口・空家マッチング制度協議、空家実態調査)		空家計画策定 施策の推進		住替支援検討 施策の推進		住替支援検討 施策の推進		
27年度		28年度		29年度		30年度				
事業費	実施計画事業費	-		10,218,000		3,345,000				
	予算額	15,806,000		10,218,000						
	決算額	14,872,000								
	執行率	94.1%								
	従事者数	0.79		2.33						
	職員	0.77		2.31						
財源内訳	臨時・非常勤等	0.02		0.02						
	国庫支出金	9,795,600								
	県支出金			4,760,000						
	地方債									
その他										
一般財源	5,076,400		5,458,000							

※金額については1円単位で記入してください

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>少子高齢化、地域活力低下に伴う都市の衰退防止を目的として、茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会において課題を協議しながら、「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」を推進するものであり、必要性は高い。しかしながら「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」を推進するにあたり、策定当初の推進予定からやや遅れが生じているため、実施手法について改善が必要である。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会を年に2回～3回の頻度で開催し、協議を行いながら推進施策の進行管理を行ってきているが、31項目の施策のうち、実際に検討・準備を開始できたものは、8項目にとどまっている。茅ヶ崎市住まいづくり連絡協議会における協議が不足していることから、さらなる施策推進に向けた仕組みづくりが課題である。(8項目については進捗が見込めている事業であり成果が上がっている。残り23項目については、中長期を目標とした施策であるが、検討・準備を開始できていない状況である。)
事務効率	8項目にとどまっている理由としては、施策を進めていくうえで必要な庁内調整の体制が構築されていなかった理由により、協議会を開催するための調整が困難であったことによるものである。庁内関係課との連携を深めたうえで、協議会において協議を進めていく必要がある。
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の成果を高める	<p>事業の選択と集中を進める。 (協議会の実施頻度の見直し等を行うとともに、重点的に取り組むべき事業に力を振り向けていく。)</p> <p>28年度は、「住まいの相談窓口」「空き家利活用マッチング制度」の本格実施を着実に行うとともに、3回開催を予定している茅ヶ崎市住まいづくり推進委員会において、スケジュールの見直し、実施事業の集中と選択、構成委員の見直し等を検討しながら、「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」の次年度以降の推進施策の検討を行う。 また、地域と連携した空き家実態調査結果を踏まえた空家等対策計画の策定を行う。</p> <p>なお、第3次実施計画上では名称を「住環境整備事業」として位置付けた。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務欄卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	16			シート作成者	-	-	
事務事業名	コミュニティバス運行事業	事務区分	自治事務	部課かい名	都市部都市政策課		
事業の目的	・公共交通の空白・不便地区における市民の移動利便性を向上 ・高齢者や障害者等で移動に制約のある人たちの日常生活を支援	事業の目標	・バス交通の利便性向上による公共交通不便地区の解消 ・高齢者や障害者の外出機会の創出				
事業の概要	茅ヶ崎市乗合交通整備計画に基づき、公共交通不便地区への乗り入れや、既存路線の運行改善に努めてきた。また、市内全体での支線としての体系をより完成度の高いものとするともに、コミュニティバスを使用したイベントなども実施し、利用促進を図る。						
対象	市民及びバス利用者		事業の性質区分	政策		業務計画	■
指標	コミュニティバス利用者(第2次実施計画) コミュニティバス(予約型乗合バス含む)の利用者(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
545,710人	427,414人 (433,114人)	427,470人	-	433,880人	-	440,390人	-
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	-	102,003,000	83,062,000	74,696,000		
	予算額	112,662,000	102,003,000				
	決算額	85,467,512					
	執行率	75.8%					
	従事者数	1	1.08				
	職員	0.89	0.95				
財源内訳	臨時・非常勤等	0.11	0.13				
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	3,100,000					
	一般財源	82,367,512					

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
茅ヶ崎市総合交通プラン及び茅ヶ崎市乗合交通整備計画に基づいて公共交通不便地区の解消に取り組んでいる。 また超高齢社会の進展に伴い、その必要性は益々高まっている。 利用者数は増加傾向にあるものの、コミュニティバス等の運行経費に対する市の負担金は平成27年度実績で約55%であり、今後、さらなる収支の改善に努めていく必要がある。	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	茅ヶ崎市乗合交通整備計画に基づき、これまで、コミュニティバスや予約型乗合バスの導入により、交通空白地区の解消等に努めてきた。利用者は超高齢社会の進展と共に交通弱者が増加していることなどを受けて、堅調にその利用者を伸ばしてきた。特に、コミュニティバスに関しては、平成27年度実績で、年間42万人を超える過去最高の利用者数となった。しかしながら、その一方で、運行経費に対する市の負担割合が依然として高い状況にあることから、さらなる収支改善が求められている。その一つとして、車体広告事業で収入の確保に努めているところであるが、広告枠が36枠(3枠×12台)あるのに対して、掲載があるのは25枠であり、平成20年度の掲載数である32枠から減少傾向にある。(1枠あたりの広告掲載料は、年12万円(月1万円))
事務効率	公用車、パッカー車等の広告事業が展開される中で、広告主がより安価な広告へと移行する現象も見られることから、従来程度の事務量で得られる収入は目減りする傾向にある。
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の成果を高める	コミュニティバス等に関わる広告のバリエーションを増やす。 ・予約型乗合バスに新たに広告枠を設ける。 ・広告事業者とのタイアップにより、時刻表を作成する。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

事業を構成する活動(27年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
16-1	コミュニティバス運行に関する協定の締結	協定の締結期限	27.4.1	27.4.1		
16-2	コミュニティバスの周知普及	利用者の利便性のための路線図等作成達成度	22,000部	20,700部	762,000	628,992
16-3	コミュニティバスの円滑な運行のための事務	コミュニティバス待避所のための土地賃貸借契約期限	27.4.1	27.4.1	333,000	322,705
16-4	バス停等施設管理	保守・点検実施バス停の数	223箇所(全路線)	223箇所(全路線)	191,000	144,404
16-5	コミュニティバス車体広告募集事務	広告募集枠の数	36枠(3枠×12台)	25枠		
16-6	コミュニティバス広告作成委託の発注	発注委託をした回数	36枠(3枠×12台)	25枠	580,000	577,584
16-7	運行改善のための打合せ関係機関等との協議等	回数	10回	15回		
16-8	コミュニティバスの利用促進等	利用促進のためのイベントの開催回数	2回	1回	128,000	234,969
16-9	中海岸南湖循環市立病院線運行経費調整	負担金の支払い期限	10月/3月	10月/5月	11,692,000	5,697,682
16-10	中海岸南湖循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組	利用者数(年間)	243,000人	242,783人		
16-11	北部循環市立病院線運行経費調整	負担金の支払い期限	10月/3月	10月/5月	28,127,000	21,457,061
16-12	北部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組	利用者数(年間)	31,000人	31,013人		
16-13	予約型乗合バスの運行経費調整	負担金の支払い期限	7月、10月、1月、3月	8月、10月、2月、5月	19,219,000	17,264,008
16-14	予約型乗合バス運行の利用者数増加のための各種取組	利用者数(年間)	5,000人	5,700人		
16-15	鶴嶺循環市立病院線運行経費調整	負担金の支払い期限	10月/3月	10月/5月	28,797,000	20,736,125
16-16	鶴嶺循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組	利用者数(年間)	80,000人	83,328人		
16-17	東部循環市立病院線運行経費調整	負担金の支払い期限	10月/3月	10月/5月	22,833,000	18,403,982
16-18	東部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組	利用者数(年間)	71,000人	70,290人		
27年度活動の結果を踏まえた28年度以降の改善内容						
項番	改善内容	経営改善方針への位置付け				
16-1	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-2	紙媒体にとらわれずホームページ等を活用した周知普及を検討するとともに、広告事業者とのタイアップにより時刻表を作成する	位置付けない				
16-3	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-4	修繕しやすいバス停デザインを検討する	位置付けない				
16-5	協賛の意味合いもあることをご理解いただきつつ、積極的な企業回りを行うとともに、予約型乗合バスにも新たに広告枠を設ける	既に位置付けている				
16-6	これまでどおり、適切に実施する	既に位置付けている				
16-7	これまでどおり、適切に実施するとともに、協議を数社で行うなど効率化を図る	位置付けない				
16-8	学校や自治会と連携を深め効果的なイベントを実施する	位置付けない				
16-9	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-10	運行ルートやダイヤの改善の余地について研究する	位置付けない				
16-11	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-12	運行ルートやダイヤの改善の余地について研究する	位置付けない				
16-13	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-14	利便性向上の余地について研究する	位置付けない				
16-15	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-16	運行ルートやダイヤの改善の余地について研究する	位置付けない				
16-17	これまでどおり、適切に実施する	位置付けない				
16-18	運行ルートやダイヤの改善の余地について研究する	位置付けない				

事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
1-1	コミュニティバス運行に関する協定を締結する	協定の締結期限	28.4.1			
1-2	コミュニティバスの周知普及を図る	利用者の利便性のための路線図等作成達成度	10,000部		767,000	
1-3	コミュニティバスの円滑な運行のための事務を遂行する	コミュニティバス待避所のための土地賃貸借契約期限	28.4.1		312,000	
1-4	バス停等施設の管理を行う	保守・点検実施バス停等の数	223箇所(全路線)及び143 枚(乗合所)		191,000	
1-5	コミュニティバス車体広告の募集事務を行う	広告募集枠の数	36枠(3枠×12台)			
1-6	コミュニティバス広告作成の委託発注を行う	発注委託をした箇所数	36箇所(3枠×12台)		564,000	
1-7	運行改善のため打合せ関係機関等と協議を行う	回数	10回			
1-8	コミュニティバスの利用促進を図る	利用促進のためのイベントの開催回数	1回		169,000	
1-9	中海岸南湖循環市立病院線の運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	10月/3月		12,000,000	
1-10	中海岸南湖循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	242,570人			
1-11	北部循環市立病院線の運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	10月/3月		25,000,000	
1-12	北部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	30,440人			
1-13	予約型乗合バスの運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	7月、10月、1月、3月		17,000,000	
1-14	予約型乗合バス運行の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	4,650人			
1-15	鶴嶺循環市立病院線の運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	10月/3月		25,000,000	
1-16	鶴嶺循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	79,050人			
1-17	東部循環市立病院線の運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	10月/3月		21,000,000	
1-18	東部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	70,760人			

【再設定項目】事業を構成する活動(28年度)						
項番	活動内容	活動指標	目標値	実績値	予算額(円)	決算額(円)
1-1	コミュニティバス運行に関する協定を締結する	協定の締結期限	28.4.1			
1-2	コミュニティバスの周知普及を図る	利用者の利便性のための路線図等作成達成度	10,000部		767,000	
1-3	コミュニティバスの円滑な運行のための事務を遂行する	コミュニティバス待避所のための土地賃貸借契約期限	28.4.1		312,000	
1-4	バス停等施設の管理を行う	保守・点検実施バス停等の数	223箇所(全路線)及び143 枚(乗合所)		191,000	
1-5	コミュニティバスおよび予約型乗合バス車体広告の募集および委託の発注を行う	広告募集枠の数	36枠(3枠×12台)/1台		564,000	
1-6	運行改善のため打合せ関係機関等と協議を行う	回数	10回			
1-7	コミュニティバスの利用促進を図る	利用促進のためのイベントの開催回数	1回		169,000	
1-8	コミュニティバスの運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	10月/3月		83,000,000	
1-9	中海岸南湖循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	242,570人			
1-10	北部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	30,440人			
1-11	鶴嶺循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	79,050人			
1-12	東部循環市立病院線の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	70,760人			
1-13	予約型乗合バスの運行経費の調整を図る	負担金の支払い期限	7月、10月、1月、3月		17,000,000	
1-14	予約型乗合バス運行の利用者数増加のための各種取組を行う	利用者数(年間)	4,650人			
1-15	時刻表の作成及び周知事務	広告事業者とのタイアップによる時刻表作成	4路線分		23,760	